

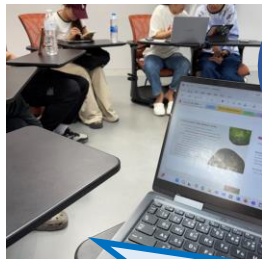


ちきゅう見聞録

～ 香大生 back at home ～

四宮 奏子
さんは
見た！

Vol. 61 タイ・チェンマイ



2年次の夏に
シラパコーン大学の
サマーコースに参加し
たことがきっかけで、
タイが好きになり留学に
興味を持ちました。

留学目的は、広報戦略の理解を深めること、タイのエコツーリズムの調査を行うことでした。

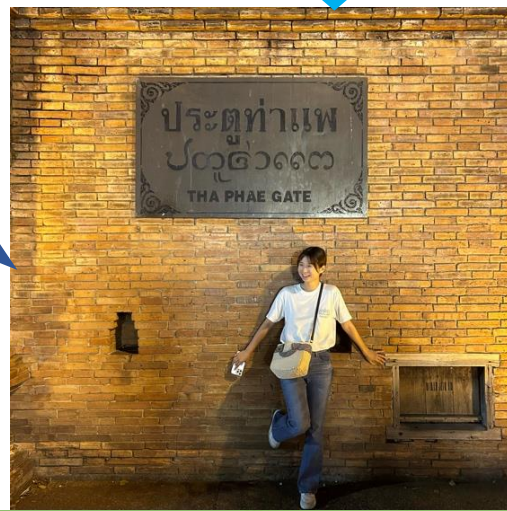
情報過多の時代に、広報PRを行う際は、相手の属性や立場に応じて届ける情報の切り口を変える等、柔軟に対応する必要があると考えたため、Sales and Distribution for Digital Marketという市場調査やブランディングを学ぶ講義を受講しました。そのほかに、Tourism in ASEAN、Linguistic、English for media artsの3講義も受講しました。私は、人文学部に所属しましたが、興味のある分野について学べる他学部開講の講義を受講しました。



国の基本情報は
【Vol.60】を見てね



サマーコースが一緒だった
チェンマイ大学の友人と再会で、
ナイトサファリに行きました。サファリゾーンを
バスで周遊した際は、手を伸ばせば触れられそうな
距離で動物たちを見ることができ、大迫力でした。
園内はテーマパークのような雰囲気、終始
ワクワクが止まりませんでした。



◎創造工学部3年生

◎2024年11月から2025年3月まで
EXPLOREプログラムでチェンマイ
大学 (CMU) に留学



ソフトボール部の活動に参加しました。私が所属している人文学部は、理学部の合同チームで活動しました。日本語学科の学生に通訳してもらったり、英語で説明してもらいながらの活動でしたが、気さくで明るい性格の学生ばかりで楽しく活動できました。

茶道部の活動にも参加しました。どちらも日本の部活動のような厳しさはなく、**楽しむことを大切にしている印象**でした。また、たくさんの友人が日本愛を伝えてくれて、**日本文化が海を渡り世界で愛されていることを実感し、誇らしい気持ちと、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。**



同じ半期で来ていた日本からの留学生と一緒に、**お寺を巡るチェンライ旅行**に行きました。私たちは、情報交換をするだけでなく誕生日会などのイベントをしました。旅行に行った時は、帰国まで残り1ヶ月を切っており寂しい気持ちもありましたが、修学旅行のような雰囲気とても楽しかったです。

生活の様子: 大抵、授業が同じ友人と一緒に**昼食**をとりました。お互いの国の文化や就職の話をしました。フードセンターには、ご飯、麺、パンなど様々な種類のお店があり、さらにキャンパス内には無数のカフェがあり、ドリンクや食べ物片手に講義を受けにくる学生も珍しくはありません。また、チェンマイ大学には、**タイ出身だけでなく、中国やミャンマーなどの隣国から留学にきている学生も多くいました。**多くの人と交流できるため、**タイ以外の国についても知ることができ、とても貴重な経験となりました。**

